

## 学習活動

「昼ご飯を作ろう」

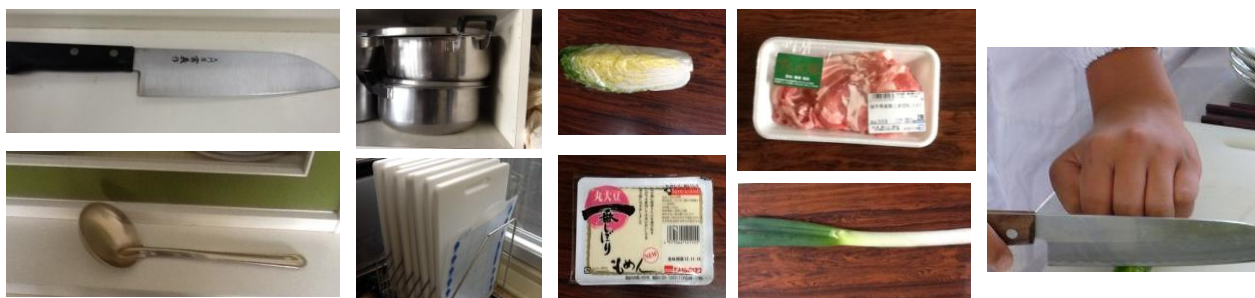
調理活動(ポテトサラダ、八法菜、みそ汁、豚汁) 調理器具の準備 後片付け 友達や教師への配膳

## 活用の目的

- 準備物が多い調理活動において、iPad のディスプレイで準備物を表示することで生徒が理解して活動できるよう支援する。
- 包丁を使う際の材料の押さえ方を画像で表示し、気付いて活動できるようにする。

## 活用の実際と工夫

- 準備物を iPad2 で全て撮影しておき、1つのフォルダにまとめておく。
- 生徒には準備物の名称とともに写真を提示する。
- 材料の押さえ方を撮影しておき、声掛けとともにまな板の傍に置いて見られるようにする。



道具・材料は写真カードを用意せず、画像データのみ用意した。写真と具体物を1対1対応で用意するので、生徒も間違いずに用意することができた。教師主導で指示を出したが、生徒が操作して用意できるとなお良い。

「猫の手」を表示した iPad を、材料を切る前に提示した。

## 活用の効果 ○効果 ●課題

- 写真を見て道具・材料を揃えることができた。
- 写真カードと比べて、準備が簡単である点が良い。カメラと大きめのスクリーンが一体化になった iPad2は、こういった支援に非常に有効である。
- 「猫の手」は、今まで繰り返し指導してきたこともあり、写真で示すことで気付いて直すことができた。
- 写真やシンボルを有効に使うためには、前の段階で生徒が「猫の手」を理解し、「手の形を揃える」学習を繰り返していることが前提になる。その上で手立てとして活用することが望ましいのではないかと、学習のレディネスが整っていないと、写真の意味理解や手の操作の学習に時間をとられてしまう。
- 文字を読むことのできる生徒であれば、準備物に名称を加えることも必要になる。写真加工のアプリケーションも多数あるので、生徒の実態に合わせて使って行けると良い。
- 将来に生きる力として、生徒主体で調理活動を行う場合はレシピサイトを利用して、機器を生徒が操作して作り上げる活動も考えられる。